みなさんの秋は どんな秋?

先日、幼稚園では運動会を開催しました。お家の方に見てもらえる機会は、子どもたちにとって特別で、ドキドキワクワクしながら、様々な表情を見せてくれました。真剣に頑張る表情も、笑顔でいっぱいの表情も、悔しくて涙ぐむ表情も、どれも見ている人に大きな喜びとパワーをくれたように思います。子どもたちの真剣な気持ちを感じると、大人も負けていられないですね!

真似る

運動会に向けての取り組みをじっと見てきた小さい組の子どもたち。憧れの 気持ちが膨らみ、運動会後に年長児の真似をしてやってみる姿があります。「こんな感じだった」「できた (年長児とは全然違うのですが…)」と自分なりに真似てみて、手応えを感じ、体を動かす楽しさを存分に感じて欲しいと思っています。

真似るのは、年少児だけではありません。年長児の子どもたちも「自分たちも似たことをしたな(*^-^*)」年少児がしていたことをやってみて、自らの生長を感じているようでした。

伝える・教える

教えるためには、自分がコツを知っていないとうまく伝えることができません。毎日うまくいかなくても諦めず、コツコツ取り組んできた年長児は、「まず足を乗せてごらん」「♪うさぎ・うさぎ…(バルーンの技の合図)」などと、丁寧に分かりやすく伝えていました。憧れの気持ちが強く、年長児のリズムとバルーンは何回もエンドレスで行われていました!





芸術の秋





地域とつながる

平野学区で育つ子どもたち。たくさんの地域の方にお 世話になっています。先日は膳所駅前交番の方がパトカーに乗って来てくださいました。新車分のパトカーに 乗せてもらって子どもたちも嬉しそうです。実体験した ことを描く子どもたちは、色を思い出したり、小さな部 品を思い出したりしながらすごく思いを込めて書いて いましたよ。

また、有志の子どもたちが『ひらのまつり』に参加し、 歌を歌ったり踊ったりしました♪





とっても大きな青虫がみんなの遊んでいるところに!「あれ?!大きな青虫がいる!ここじゃ、踏まれちゃうよ。」とドキドキしながらも、なんとか手ですくって入れ物に入れ、安全な草のところまで運んであげていました。





大根の葉を食べるのは?

4歳児の子どもたちが育てている大根の葉が穴だらけになってしまいました。よ~く見ると青虫がムシャムシャ美味しそうに食べています。虫も生きているんですよね。先生と相談して、「虫を捕って育てる」ということになったそうです。バッタや蝶などがたくさんいて、喜んで捕る子どもたち。しかし、お世話に気持ちが行かず、大事な命が失われてしまうこともあります。先生も様々な方法で命の大切さを伝えています。

ばいば~い!元気でね。